

2024 年 9 月 26 日

阪神電気鉄道株式会社
株式会社阪神タイガース

ゼロ カーボン ベースボール パーク ZERO CARBON BASEBALL PARK

阪神甲子園球場で回収したビールカップの再生繊維を クッション材に使用した特別仕様の座席を導入します ～エリア名称は「コクヨプレミアムシート」に決定！～

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：久須勇介）と株式会社阪神タイガース（本社：西宮市、社長：栗井一夫）は、2025 年 3 月開業予定の阪神タイガース新ファーム施設「ゼロカーボンベースボールパーク」（尼崎市）のメイン球場である「日鉄鋼板 SGL スタジアム尼崎」において、阪神甲子園球場で回収したポリエステル製ビールカップの再生繊維をクッション材に使用した特別仕様のスタジアムチェアー（コクヨ株式会社製）約 150 席をバックネット裏前方エリアに導入します。併せて、同エリアの名称を「コクヨプレミアムシート」にすることが決定しました。

更に、「日鉄鋼板 SGL スタジアム尼崎」「小田南公園野球場」両球場の客席、1・3 塁ダグアウトにおいても、コクヨ株式会社製のスタジアムチェアーを採用します。

詳細は以下のとおりです。

記

1. 回収ビールカップ再生繊維配合のクッション材を使用した特別仕様スタジアムチェアー

【商品名】「Centura（センチュラ）」

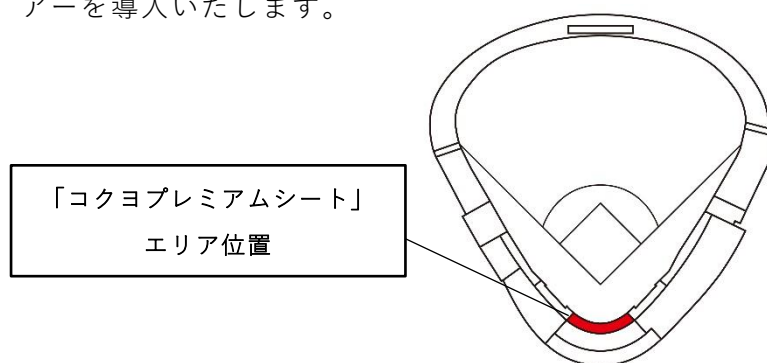
本商品は、コクヨ株式会社製のコンパクトなフォルムと安定感のある座り心地のスタジアムチェアーで、背部のクッション材には、阪神甲子園球場のオフィシャルエコパートナーである**帝人フロンティア株式会社**が製造する同球場で回収したビールカップ由来の再生繊維も配合。「ゼロカーボンベースボールパーク」のために新たに開発された、エコで快適な特別仕様品です。



「Centura（センチュラ）」イメージ

2. ネーミングライツ（命名権）について

「日鉄鋼板 SGL スタジアム尼崎」の客席のうち、バックネット裏前方エリア（約 150 席・下図参照）のエリア名称を、2025 年シーズンからコクヨ株式会社のネーミングライツ（命名権）として「コクヨプレミアムシート」とすることが決定しました。同エリアには、本紙 1 に掲載の、回収ビールカップ再生繊維配合のクッション材を使用した特別仕様スタジアムチェアを導入いたします。



3. コクヨ株式会社製スタジアムチェアの採用予定箇所

- ・「日鉄鋼板 SGL スタジアム尼崎」の客席（約 3,600 席）、1・3 塁「ダグアウト」
- ・「小田南公園野球場」の客席（約 50 席）、1・3 塁「ダグアウト」

※「コクヨプレミアムシート」以外の座席も同社スタジアムチェア商品各種を採用します

< 参考 >

阪神タイガースファーム本拠地「ゼロカーボンベースボールパーク」について

2025 年 3 月より、阪神タイガースのファーム施設（現・西宮市鳴尾浜）を尼崎市・小田南公園へ移転し、「ゼロカーボンベースボールパーク」として開業します。同施設には「日鉄鋼板 SGL スタジアム尼崎」、タイガース練習場、室内練習場、選手寮兼クラブハウスを新設し、選手たちが試合や練習に励む姿を身近に感じながら野球を楽しめる「小田南公園野球場」や、くつろげる広場、散歩やランニングができる周遊コースも整備します。更に、太陽光発電・蓄電池の導入や廃棄物発電の活用、省エネ徹底による「脱炭素化」を初め、ペットボトル・プラスチックカップの回収・リサイクルや雨水・井水の活用といった環境に優しい取り組みを行うなど、脱炭素社会や循環型社会に資するここにしかない魅力ある公園がまもなく誕生します。



阪神グループは、「“たいせつ”がギュッと。」のブランドスローガンの下、これからも一人ひとりのお客様の“たいせつ”と向き合い、グループ一丸となって阪神らしいブランド体験を提供し続けることで、その信頼と期待に応えてまいります。

